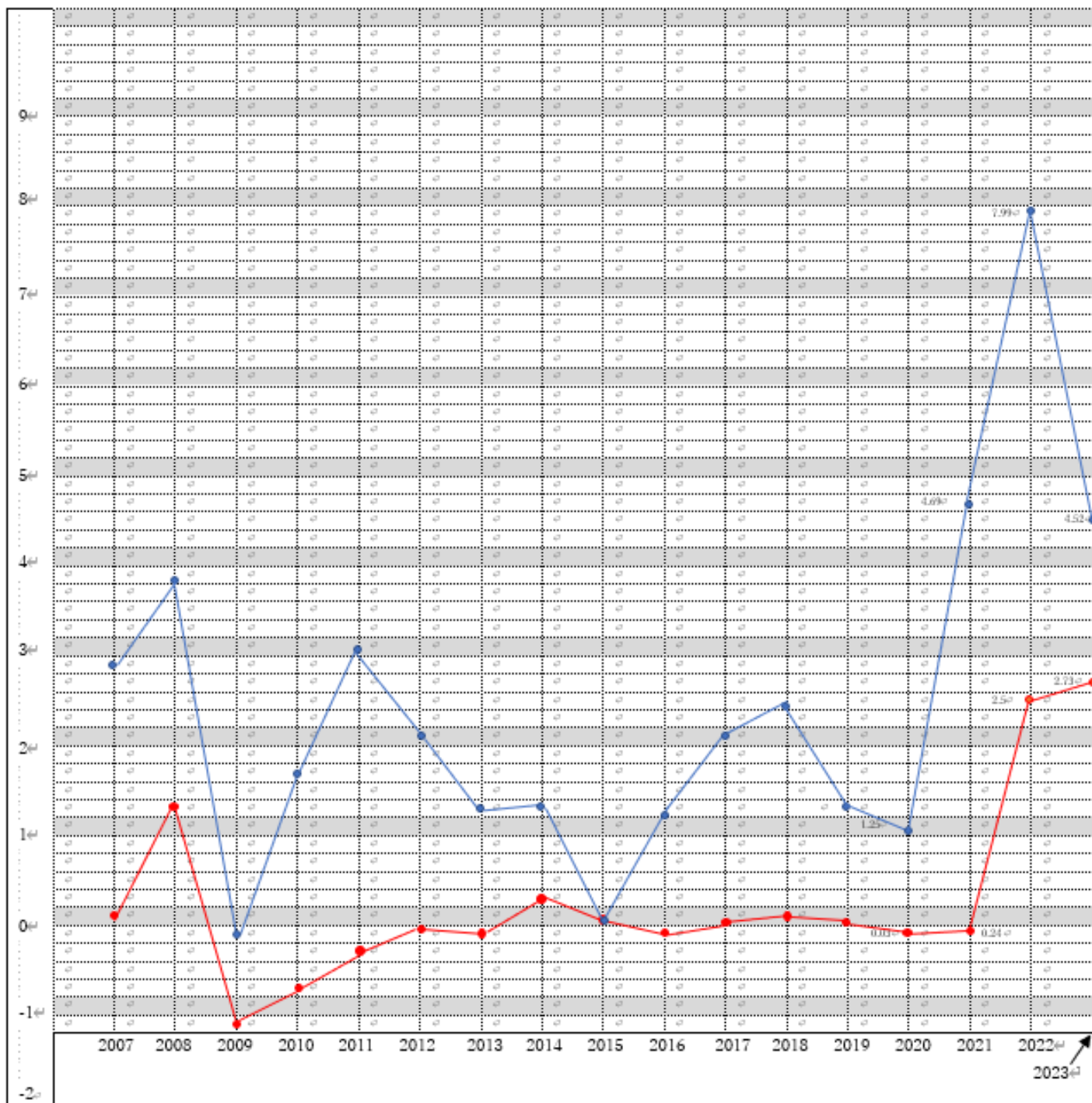


課題 1

下のグラフはアメリカと日本のインフレ率の推移を示したものである。

- ① 2020年～2022年のところでどのような傾向がみられるか。120字以内で説明しなさい。
- ② その原因はどのようなところにあると考えるか。150字以内で説明しなさい。



ここではサンプルを示すためですので、グラフは読み取りにくいですが、授業では読み取りやすいものを使います。

解答

①

アメリカのインフレ率は、2020年の1.25から2021年には4.69へ、2022年には7.99へと跳ね上がっている。日本は、2020年と2021では大きな変化がない。しかし、2022年には2.5へと跳ね上がっている。日本はインフレ率の数値は低い、日本の上り幅は約2.5とアメリカの約3.3に近い。117字

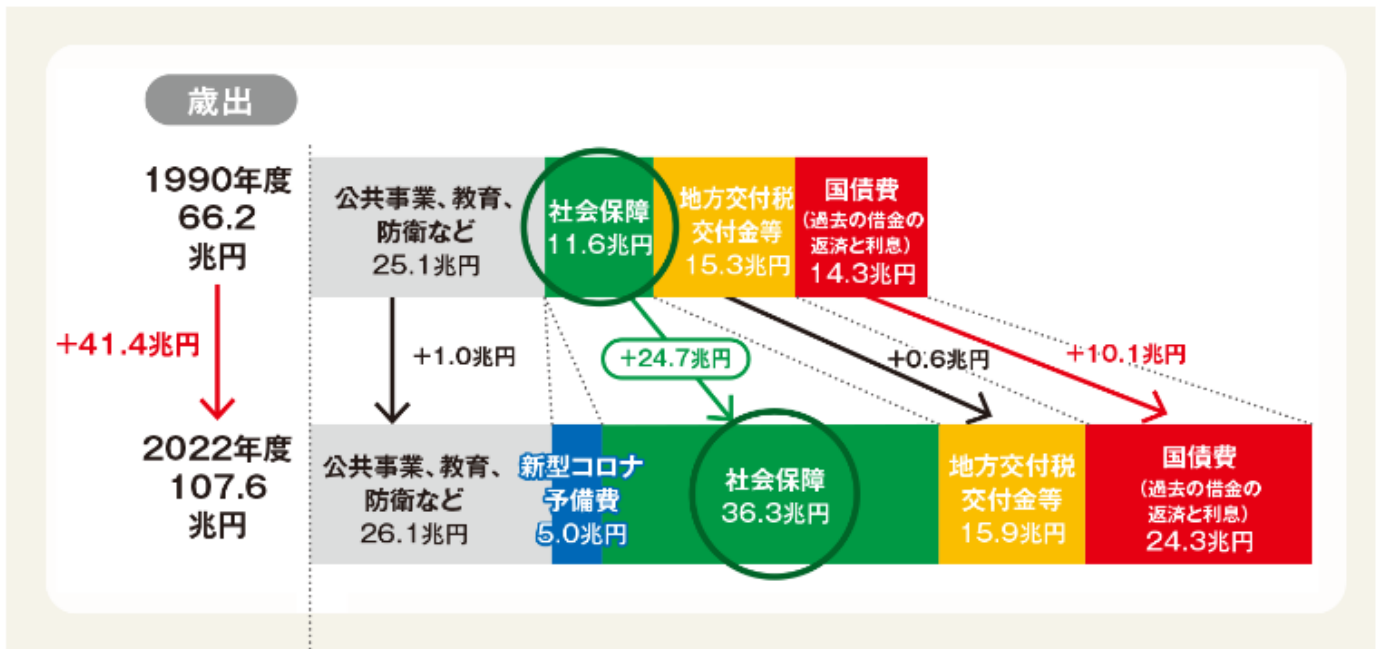
*注 日本経済は、アメリカなどに比べてコロナ禍からの回復が遅れた。だから、2020年と2021年であまり変化がない。

②

2021年のアメリカのインフレ率の上昇は、コロナ禍からの経済の回復に伴う原材料の不足が原因である。

2022年のアメリカや日本のインフレ率の上昇は、ロシアのウクライナ侵攻により、ロシアからのエネルギー供給や、ロシアやウクライナからの穀物供給が世界全体で不足したためである。129字

課題2



総務省のHPより

問題

① グラフ・表からどんな特徴が読み取れるか？

② そのような変化の原因を考えて答えなさい。

解答

① 1990年から2023年で予算金額が約41.4兆円増えている。著しく増大しているのは、社会保障費と国債費である。新型コロナ予備費も5兆円増大させている。67字

② 高齢化の進行により、医療・介護などに必要な社会保障費が著しく増大した。このため、国は、税金でまかなえない分を、国債を大量に発行して借金をすることでまかなおうとしてきた。このため借金とその利息も大きくなり、国債費も増大した。111字